

1 1 : 男性更年期ではないか、勃起しなくなった

女性の卵巣に相当する精巣は男性ホルモンを死ぬまで分泌します。

しかし、30代以降は分泌は低下し、個人差も大きいです。女性の閉経のようなものはないとされてきましたが、男性も低下により発汗、ほてり、倦怠感、気が滅入るなどの症状とともに勃起不全も現れてきます。現在では、上記のような症状に加え、血中の遊離テストステロン値を測定し、低値の場合は男性ホルモンの補充療法を受けることができます。ただし、更年期障害の補充療法は一般には健康保険ではカバーされないことが多いです。また、男性更年期はうつ病との鑑別が困難なこともあります。

加齢による勃起障害は70歳代で70%、80歳代で80%と言われます。糖尿病が骨盤内の臓器（大腸や前立腺）の術後などにも見られます。現在では、バイアグラで有名になった、勃起不全改善薬（PDE阻害薬）が、状況により処方されます。しかし、これも健康保険適用外のために、自費扱いになります（IIEF-5参照）。

1 1 : 男性更年期ではないか、勃起しなくなった

IIEF 5 (国際勃起機能スコア)

IIEF5 日本語版

最近 6 カ月で		
1. 勃起を維持する自信の程度はどれくらいありましたか？	非常に低い	1
	低い	2
	普通	3
	高い	4
	非常に高い	5
2. 性的刺激による勃起の場合、何回挿入可能な勃起の硬さになりましたか？	全くなし、またはほとんどなし	1
	たまに	2
	時々 (半分くらい)	3
	おおかた毎回	4
	毎回またはほぼ毎回	5
3. 性交中、挿入後何回勃起を維持することができましたか？	全くなし、またはほとんどなし	1
	たまに	2
	時々 (半分くらい)	3
	おおかた毎回	4
	毎回またはほぼ毎回	5
4. 性交中、性交を終了するまで勃起を維持するのはどれくらい困難でしたか？	ほとんど困難	1
	かなり困難	2
	困難	3
	やや困難	4
	困難でない	5
5. 性交を試みたとき、何回満足に性交ができましたか？	全くなし、またはほとんどなし	1
	たまに	2
	時々 (半分くらい)	3
	おおかた毎回	4
	毎回またはほぼ毎回	5

合計点 _____点

重症 5～7 点 中等症 8～11 点 軽症～中等症 12～16 点

軽症 17～21 点 ED なし 22～25 点